

生物多様性藤沢戦略

【将来像】
〈暮らしの中に〉生物多様性

藤沢市の内部要因 ※市でコントロールできる要素

▲強み(Strengths)

- 【自然環境】
- ・市の自然環境の中核として「三大谷戸」がある。
 - ・相模湾に注ぐ「引地川」と「境川」あり、海と川のネットワークがある。
 - ・自然環境の豊かな場所・重要性の高い場所として、「三大谷戸」、「少年の森周辺」、「新林公園等の谷戸や斜面林を含む箇所」、「辻堂海岸」、「大庭遊水地」等がある。
 - ・自然環境の固有性が高い「江の島」と「辻堂海岸周辺」がある。
 - ・市街化区域に生きものが利用できる「市有山林」が残っている。
- 【産業：観光、工業、農業】
- ・観光地・景勝地として優れた自然資源（「江の島」や「湘南海岸」）がある。
 - ・工場等環境緑化推進協議会があり、業種間連携が可能である。
 - ・生きものが利用できる「まとまりある農地」がある。
- 【市民】
- ・学校ビオトープ活動がさかんで、子どもを通じた親世代・地域の大人との連携がある。
 - ・環境への意識が高い農業者が多く、農の環境での普及活動も行われている。
- 【暮らし】
- ・藤沢は何でもそろっていて、暮らしやすい街である。

▲弱み(Weaknesses)

- 【自然環境】
- ・優れた谷戸の一部は、制度による保全の担保性が確保されていない。
 - ・自然地への外来草本の侵入や竹類の拡大が顕在化している。第2、3の影響
 - ・市街地の緑の質が低下している（事業地内樹木の老齢化等）。
- 【産業：商工業、農業】
- ・商店街の衰退や周辺都市での大型商業開発により消費者が流出している。
 - ・産業の空洞化等により雇用の減少や中小企業の厳しい経営状況がある。
 - ・事業所内の緑化樹木が老齢化している。
 - ・農業者の高齢化、担い手不足の問題が顕在化している。
- 【教育】
- ・学校では、子どもも教師も忙しく、野外体験を十分に行うことができない。
- 【市民】
- ・保全活動を行う市民が固定化・高齢化している。
- 【暮らし】
- ・消費・経済活動を通じた環境・生物多様性への負荷が拡大している。
 - ・暮らしのなかで生物多様性の恵みを感じたり認識したりする機会が少ない。第0の影響

★成長のための課題

- 優れた自然環境の優先的保全
 - 江の島、三大谷戸、二大河川を軸とした保全施策の打ち出し
 - 「残したい藤沢の原風景」の指定による保全
 - 環境教育・体験の場としての「農」の利用
 - 情報の集積・発信拠点として「生物多様性情報センター」等の場の創設
 - 良好な自然環境の活用による「エコミュージアム」化
- 身近な自然環境の保全と活用
 - 市街化区域に残る市有山林の保全と有効活用
- 学校を起点にした協働連携体制の構築
 - 「おやじの会」による学校ビオトープの管理体制構築
- 新たな観光スタイルの提案
 - 「農」を活かした体験型観光の推進

★弱点補強のための課題

- 脆弱な自然環境の保全担保性向上
 - 制度による補償
 - 人手による維持管理の推進体制構築
- 地域や事業間（企業間）の連携による生物多様性保全の推進
 - 地域内での連続した緑の確保、緑の質の向上
 - 普及啓発の拠点における重点プロジェクトの立ち上げ・実施
 - 人手による維持管理の推進体制構築
- 市による人材育成制度の構築
 - 外来種対策の人材育成促進
 - 教員OB・OGを活用した理科教育の対応策構築（特に野外体験）

★停滞回避のための課題

- 地域で維持する「農」環境
 - 高齢者による農地管理作業への支援体制構築
 - 作物の廃棄物減少に向けた再利用策の提案
 - ブランド野菜・加工品の提案
- 防災・減災の視点による環境の保全
 - 立地条件に合わせた土地利用の推進
 - 調整区域内の立地の防災・減災対策用地の指定

★後退回避のための課題

- 地域の生態系を脅かす生物への対策
 - 自然地への外来種の侵入防止対策
 - 放棄した樹林への竹類の侵入防止対策
- ライフスタイルの見直しによる持続可能な社会の創出
 - 新しい3R（リノベーション、エシカル等）の視点を含む）の提案・実践

●機会(Opportunities) ※市にチャンスとなる外部要因

- 【市の上位・関連計画】
- ・環境基本計画及び緑の基本計画における生物多様性の主流化促進
 - ・ビオトープネットワーク基本計画における緑施策の将来方針提示
- 【国や県の戦略】
- ・生物多様性の保全における地域連携の推進
- 【周辺自治体の戦略】
- ・生物多様性の保全における地域連携の推進

◆脅威(Threats) ※市を脅かす外部要因

- 【社会的環境の変化】
- ・経済の低迷
 - ・人口減少、少子高齢化
 - ・産業構造の変化 第2の影響
 - ・経済のグローバル化 第3の影響
- 【甚大化する自然災害】
- ・ヒートアイランド現象
 - ・ゲリラ豪雨の発生
 - ・東南海・南海地震をはじめとした大震災
- 【地球環境の変化】
- ・地球温暖化 第4の影響
 - ・人口増・消費増による持続可能な社会への負荷増大

藤沢市をとりまく外部要因

※市の努力で変えられない要因